

経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第3回）

議事要旨

1. 会議名 経済学委員会数量的経済・政策分析分科会（第26期・第3回）
2. 日時 令和6年10月19日（土）12時30分～13時30分
3. 会場 福岡大学七隈キャンパス A 棟7階 A716 教室及びオンライン会議システム併用のハイブリッド開催
4. 出席者 石井 利江子、岩城 秀樹、宇南山 卓、川崎 能典、小原 美紀、西郷 浩、塩路 悦朗、高槻 泰郎、中村 さやか、早川 和彦、福重 元嗣、福元 健太郎、松尾 美和、宮川 努（14名）
5. 議題：
 - （1）チュートリアルセッションの開催について
 - （2）政策ニーズのヒアリングについて
 - （3）その他

議事録

（1）チュートリアルセッションの開催について
日本経済学会 2024 年秋季大会において、本分科会が提案したチュートリアルセッションとして「消費分析の進め方」（報告者：宇南山卓氏）が企画セッションとして採択され、2024 年 10 月 19 日に開催されることが報告された。また、この次のチュートリアルセッションについては、2025 年春季大会（2025 年 5 月）に開催すべく、テーマや候補者について議論を行った。その結果、星野崇宏氏（慶應義塾大学）に因果推論についてご講演頂く旨、大森裕浩氏から打診し、内諾を得たことが報告された。

（2）政策ニーズのヒアリングについて
Journal of Economic Perspective 誌において、政策担当者が、経済学者に向けて、分析・検討して欲しいテーマを提示する特集号が組まれたことを受け、当分科会でも政策担当者にヒアリングをしてみてもよいのではないかと提案が分科会メンバーより出されたことを受けて、実施方法について議論した。

その結果、分科会内部でヒアリングを行うという方向性が確認され、その内容を公開する方法として、個人名を伏せた状態で刊行物の形で公開する案、内容を分科会で整理し、まとめたものをチュートリアルセッションとして日経学会で報告する案が出た。

今後、京都大学経済研究所先端政策分析研究センターの協力を得ながら、ヒアリング候補者を選定し、オンラインでヒアリングを行う方向性が確認された。また、本件に関して分科会内部にワーキンググループを作ることについても合意を得た。

（３）その他
特になし